



## おしせまる年の瀬

### 買い物客でにぎわう市日

12月も残り少なくなり、あわただしく行き交う光景が目につきます。

寛永2年（1625年）に開設され、356年の歴史を誇る市日（現在の形態をなしたのは明治24年）では、生鮮食品や日用品が格安。街行く人は、威勢のいい呼び声に店頭をのぞき込み、売り手と買い手の駆け引きの末、両手いっぱいになるほど買い込み、くる年をむかえる準備に活気を呈していました。

#### 人口と世帯数 (住民基本台帳による)

|             |        |
|-------------|--------|
| 11月30日現在    | (前月比)  |
| 総人口 25,494人 | (33人減) |
| 男 12,453人   | (11人減) |
| 女 13,041人   | (22人減) |
| 世帯数 7,213世帯 | (5世帯減) |

ことしも大雪が予想されます

# 冬将軍にそなえ準備万全

路上駐車はやめて

本格的な冬を迎えようとしていますが、ことしの積雪予報では、大雪が予想されています。町では、冬将軍の到来に備え、冬期間の交通を確保し、住民の生活と経済を守るため、このほど「除雪作業打合せ」を開いて、除雪対策に万全を期すことになりました。



ことしから戦力にくわるスノーローダー

町では、除排雪の機能をアップするため千九百五十万円でスノーローターを購入。あわせてスノーローター二台、スノーローダー一台、スノードザー四台、グリーダー二台、除雪ダンプ二台、排雪ダンプ一台、歩道用ミニロータリー一台の機動力と運転手（臨時職員を含む）十一人が常時待機して除雪作業にあたることになっています。

また、除雪する町道の総延長が百六十九・七キロにおよぶことから、町内業者から十六台除雪車を借りあげて、町民のみなさんの生活に支障のないよう出動することになっています。

## みなさんをお願い

町では、十センチ以上の降雪で作業を開始しますが、午前三時半にいつせいに除雪車が出動し、みなさんが出勤する前に除雪を終えなければなりません。

除雪の能率を高めるため町民のみなさんにも次の事項を守っていただくようお願いいたします。

▽除雪時は、道路上に車を放置したり駐車させないでください。  
▽道路に宅地内の雪を押し出した後、投げないようしてください。  
▽車道から歩道にわたるスロープは除雪の障害となりますので撤

去してください。  
▽道路に直接落雪する屋根には、雪止めをつけ道路に落ちないようにしてください。  
▽集落（町内）ごとに雪捨て場を設けてください。

## 通行止め

次の路線は、冬期間通行止めとなり、除雪しませんでご注意ください。

▽農道・坊沢→大向線  
（う回路は、県道鷹巣・木戸石線、川口、小ヶ田経由）  
▽町道・坊沢→黒沢間  
（道路工事中のため、工事完了するまで通行止めとなります）

## 冬をむかえ

## 工事急ピッチ

（農業災害頭首工復旧工事）  
▽工事場所〓綴子字湯操舟沢地内  
▽請負額〓四十万円  
▽請負者〓東園土木・村上祐治  
▽工事場所〓綴子字又右エ門田の沢地内  
▽請負額〓五十六万円  
▽請負者〓沢木建設・沢木和雄  
▽工事場所〓栄字下モ村地内  
▽請負額〓七十八万円  
▽請負者〓芳賀工務店・芳賀喜行  
▽工事場所〓七日市字明利又地内  
▽請負額〓六百二十五万円  
▽請負者〓津谷組・津谷栄七  
（農業災害水路工事）  
▽工事場所〓綴子字湯操舟沢地

内  
▽請負額〓百四十九万円  
▽請負者〓北秋建設・渡辺昌  
▽工事場所〓綴子字長堤下地内  
▽請負額〓百六十万五千円  
▽請負者〓村昭組・村上昭二  
▽工事場所〓前山字小館地内  
▽請負額〓二十二万円  
▽請負者〓松橋建設・松橋政男  
▽工事場所〓今泉字根立場地内  
▽請負額〓三十万円  
▽工事場所〓綴子字二本杉家向地内  
▽請負額〓三十万円  
▽工事場所〓綴子字馬子石地内  
▽請負額〓四十五万円  
※いずれも請負者は三正建設・三沢正蔵

## 町長日誌

11月16日～11月30日

16日 町老人福祉大会  
17日 秋田県都市計画協会役員会、総会  
19日 生活改善実行グループ連絡協議会結成十五年記念大会  
20日 森吉町外四カ町村病院組合議員協議会  
内外情勢調査会〓大館市今泉林道一号橋完成祝賀会  
21日 青少年育成鷹巣町民会議  
25日 健康大学閉講式

# 中嶋氏文部大臣表彰に輝く

## 後藤・北林氏は県教育功労章



中嶋修三氏

教育に貢献した鷹巣小学校長・中嶋修三氏に文部大臣教育者表彰、後藤惣一郎・北林テル両氏に秋田県教育功労章がこのほど授与されました。

〔中嶋修三氏〕 昭和三十九年鷹巣中学校教頭、四十二年鷹巣阿仁部教育事務協議会派遣指導主事として、同協議会の設立に加わり、同地域の学力向上に尽力。五十二年県教育庁北教育事務所長として、教員の待遇改善に力を注ぐ。五十五年から鷹巣小学校長、町内校長会長として教育に情熱を傾けています。

今回の受章は、北教育事務所長のほか、数学教育の指導者としての功績が評価され、全国百十五人のなかに選ばれ、当町から初めての栄えある文部大臣教育者表彰となったものです。

〔後藤惣一郎氏〕 鷹巣中学校教諭、北教育事務所指導主事を経て緑ヶ丘小、鷹巣東小、綴子小、米内沢小各校長として学校教育に尽

力され、この春退職。また在職中は県小学校長会副会長、県音楽研究会副会長を歴任。文部省唱歌「からまつ」や「鷹巣町民歌」を作曲

## 健康大学は盛会に終了

町では、住民の健康を守るため健康大学を開催。講座は六月から十一月二十五日まで六回にわたって実施されました。

健康大学は、予防医学や環境衛生、食生活、薬学など健康に関する正しい知識を修得するため、昭和四十八年から地区単位で実施してきましたが、ことは、鷹巣地区を対象に開かれたものです。

自分の健康は自分で守ろうと、主婦や老人クラブから二百六十三人が参加。メモをとりながら熱心に受講していました。

最終日には、閉講式が行われ、三回以上の出席者百二十六人を代表して、斎藤喜助さん（住吉町）に出川町長から修了書が交付されました。

全日程に参加した武藤吉郎さん（松葉町）は「家族にひやかされたが参加してよかった。ガンの予防、薬草の効用と採取の仕方、薬の正しい飲み方など大変参考にな

するなど、音楽教育の指導者として貢献されました。

〔北林テル氏〕 鷹巣小学校教諭から、鷹巣阿仁部教育事務協議会派遣指導主事となり管内の教育向上に尽力。その後合川西小、鷹巣南小、綴子小で女性教頭として学校経営にたずさわりの春退職。

在職中は全県女子体育研究会副会長を努め体育教育の指導者として貢献されました。

った」と、また、河田秀子さん（あけぼの町）は「有害食品の恐ろしさや、合成洗剤、たばこの害など映画を通して学ぶことができて、知らないうちに健康を害していることを、あらためて認識させられた。これらを健康な家族生活に生かしたい」と感想を述べていました。



## 結核三次検診を中央公民館で

日時 12月22日 午前9時30分から11時30分  
12月23日 午後12時30分～3時

- ▽工事場所 綴子字大畑大堰地内  
▽請負額 五十一万円
- ▽工事場所 丸秋建設・近藤秋男
- ▽請負額 六十四万円
- ▽工事場所 綴子字田の沢地内
- ▽請負額 六十四万円
- ▽工事場所 沢木建設・沢木和雄
- ▽請負額 七十五万五千円
- ▽工事場所 今泉字造坂地内
- ▽請負額 七十五万五千円
- ▽工事場所 千葉建設・千葉勲
- ▽請負額 九十一万円
- ▽工事場所 米代川商事・九島武松
- ▽請負額 九十一万円
- ▽工事場所 小森字上堰地内
- ▽請負額 百二十三万円
- ▽工事場所 長岐建設・長岐六郎
- ▽請負額 百二十三万円
- ▽工事場所 綴子字五兵工沢地内
- ▽請負額 十萬五千元
- ▽工事場所 宮野建設・宮野岩男
- ▽請負額 三十三万円
- ▽工事場所 脇神字湯車堂の前地内
- ▽請負額 百二十万円
- ▽請負者 山耕土木・山田耕三
- 〔農業災害水路ほか合併施行〕
- 復旧工事
- ▽工事場所 栄字小摩当地内
- ▽請負額 四十七万円
- ▽請負者 松橋建設・松橋政男
- ▽工事場所 坊沢字大向地内
- ▽請負額 百五十二万円
- ▽請負者 三協土建・高田満
- ▽工事場所 脇神字中金堀地内
- ▽請負額 六十五万円
- ▽請負者 淡路重機・淡路寿治
- ▽工事場所 坊沢字大沢地内
- ▽請負額 二十四万二千元
- ▽請負者 小笠原建設・小笠原文男
- ▽工事場所 栄字根洗沢地内
- ▽請負額 七十五万円
- ▽請負者 米代川商事・九島武松
- 〔農業災害道路復旧工事〕
- ▽工事場所 綴子字孫兵工田地内
- ▽請負額 百五十七万五千円
- ▽請負者 畠山建設・畠山鉄雄
- ▽工事場所 七日市字屋敷岱地内
- 〔田と合併施行〕
- ▽請負額 五十五万円
- ▽請負者 小猿部建設・関竹雄
- 〔農業災害田復旧工事〕
- ▽工事場所 坊沢字槻木岱地内
- ▽請負額 三十三万円
- ▽工事場所 栄字根洗沢地内
- ▽請負額 四十万円
- ※いずれも請負者は畠山組・畠山堅逸
- ▽工事場所 脇神字南陣場岱A地内
- ▽請負額 五十三万円
- ▽工事場所 脇神字南陣場岱B地内
- ▽請負額 二十八万円
- ※いずれも請負者は宮野建設・宮野岩男
- ▽工事場所 小森字沼の沢地内
- ▽請負額 二百十五万円
- ▽請負者 小笠原建設・小笠原文男
- ◆全工事とも、工事期限は五十七年三月二十日まで。



妹尾館に待望の

# 児童館が完成

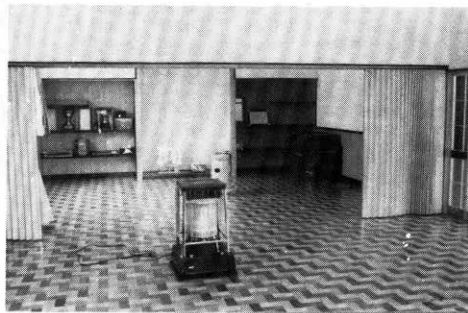
七日市・妹尾館では、既存の集会所が老朽化したので、このほど「妹尾館児童館」を建て替え、子供会活動と地域のコミュニケーションづくり役に役立てることになりました。十二月六日には、地域の人たちが総出で、喜びの落成を祝いました。

妹尾館では、昭和三十八年に宮林署から作業小屋を払い下げして集会所を建てていましたが、傷み

がひどく、手狭となったので、九月から建て替え工事を進めていました。このほど完成しました。

建物は木造平屋建てで、総面積は八十九・二三平方メートル。内訳はテレビ備付けの児童遊戯室が五十九・四九平方メートルで、中央をバーテションで仕切ると二間の会議室がとれます。ほかは玄関、便所、台所、物置となっています。

建築工事費の総額は三百八十八万七千円。内訳は建築費三百六十五万円、土地取得費十万円、諸経費十三万七千円となっています。歳入は、町補助金百五十万円、七日市財産区補助金七十四万円。自己負担金百六十四万七千円で、毎戸から六万千円を徴収しています。



六日には、大人から子供まで集まって児童館の竣工を祝いあいました。自治会長の佐藤福治さんは「これを機会に年代を超えた仲間、集落づくりに役立てていきたい。児童も気軽に利用できるよう、備品を揃えたい」と述べ、子供会活動の育成と、地域のコミュニケーションづくりに役立つと喜んでいました。

## 共同募金「赤い羽根」に

## ご協力感謝します

十月一日より三十一日まで行われました共同募金「赤い羽根」には、町民のみなさんから絶大なご協力をいただき感謝いたします。

ことは、目標額三百四十万円に対して、三百七十四万三千四百七十円の募金をいただき、目標を

三十四万三千四百七十円を上廻る好成績でした。

みなさんから協力いただいた浄財は、県と町の福祉協議会をつうじて、恵まれない人たちが福祉施設、私立保育園などに届けられることになっています。

## 自動車運転免許が

## 即日交付されます

昭和五十七年一月から、自動車を運転する方の利便とサービスの向上をはかるため、秋田市・県警察免許センターで、運転免許証を即日交付することになりました。

### ◆実施の方法と時期

▽新たな運転免許証の取得者（失効・併記を含む）▽再交付申請者（紛失・遺失など）

▽昭和五十七年一月二十日から  
▽免許証の更新者で即日交付を希望される方

### ◆受付時間

▽新規免許（月～金）午前八時四十分～午前九時三十分まで

▽更新免許（月～金）午前八時四十分～午前九時三十分。午後一時～午後一時五十分

### ◆実施場所

▽秋田県警察免許センター（秋田市新屋南浜町四一七七）

▽前記以外は、これまでどおり鷹巣警察署で取扱いいたします。

そのほか、不明な点がありましたら、鷹巣警察署に、お問い合わせしてください。



## 雇用促進の制度を生かそう

労働省と県では、雇用を促進するため、雇用を創出する事業主と雇用の安定を促進する事業主に対して助成することになりました。

## ◇ 地域雇用奨励金

当町は労働大臣が指定する「雇用機会が不足している地域」となっていますが、町で事業所を新増設して、操業開始の前後各三ヵ月間に職業安定所の紹介により、地元から一人以上の常用雇用した事業主に、一人あたり月額一萬六千円を十二ヵ月間助成します。

## ▽ 重度障害者等職場適応助成金

職業安定所の紹介により、重度心身障害者または四十五歳以上の身体障害者を常用雇用し、職場適応のため措置を講じた事業主に、一人あたり月額三万円を三年間助成します。

## ほかに、特定求職者雇用開発助成金の制度もあります。

## 雇用の安定を促進するため

## ▽ 定年延長奨励金

労働協約または就業規則で定年を定めており、昭和四十八年四月一日以降、定年を五十六歳に引きあげた中小企業事業主に、対象者一人あたり月額四十万円を助成します。

## ▽ 継続雇用奨励金

定年を六十歳以上と定めており、昭和五十年五月一日以降の定年到達者（六十歳以上六十五歳未満）

を引き続き一年以上勤務延長、または再雇用した中小企業の事業主に、対象者一人につき月額二十万円助成されます。

ほかに、定年延長等報奨金、再雇用報奨金、高年齢者雇用確保助成金、身体障害者雇用調整金、身

## 年末資金申込受付中!!

## 融資制度のおしらせ

もうすぐ年末を迎えますが、商品の仕入れ、買掛、支払い手形の決済やボリナス資金などの資金手

当はおすみでしょうか。年末の急場をしのぐための、融資制度がありますのでご利用ください。

◆ 国民金融公庫  
▽ 普通貸付：運転資金・設備資金とも千八百万円以内 特定設備資金二千七百万円以内  
▽ 経営改善貸付：無担保無保証人

Ⅱ 運転資金三百万円以内 特定資金三百五十万円以内 設備資

金三百五十万円以内

◆ 町中小企業振興融資幹旋制度

(● 資金)

▽ 運転資金・設備資金とも三百万円；取扱い金融機関は秋田銀行

秋田相互銀行 羽後銀行 北秋信用組合

◆ 小規模事業振興資金④ 資金

▽ 運転資金、三百万円；設備資金四百万円；取扱い金融機関は秋田銀行 秋田相互銀行 羽後銀行

※問い合わせと申込み手続きは住吉町十二番十八号鷹巣町商工会へ

体障害者報奨金などの制度があります。

◇ わしくは、大館職業安定所鷹巣出張所（二一四〇）に、お問い合わせください。

## 中小企業者のみなさん

## 倒産防止制度の活用を

## 中小企業倒産対策貸付制度

取引先の企業が倒産して、売掛金などの回収が困難になり、資金繰りが悪化している中小企業者に、緊急に必要とする運転資金を融資するものです。

▽ 貸付額：既存借入残額（すでに借りている額のうち、まだ返済していない額）の多少にかかわらず、貸付額は次のとおりです。

○ 中小企業金融公庫の「中小企業資金」Ⅱ 二千五百万円

○ 国民金融公庫の「生業資金」Ⅱ 六百万円

## 中小企業倒産防止共済制度

毎月、一定の掛金を積み立てることによって、取引先企業が倒産して売掛金などの回収が困難になった場合は、共済金の貸付けを受けることができるものです。

▽ 毎月の掛金、五千円から五万円まで、五千円きざみの十種類（掛金総額二百十万円まで、最短積み立て期間四十二ヵ月）

▽ 貸付額 掛金総額の十倍の範囲内で、回収困難となった売掛金などの「被害額」に相当する額

▽ 加入申し込み先 商工会

## 倒産関連特別保証制度

信用保証協会が借入れ債務を保

証する「信用保証制度」によるものですが、一般保証とは別枠で、倒産事業者と取引のある中小企業の連鎖倒産防止のために設けられているものです。

▽ 対象 金融機関の分を除く、負債総額が十億円以上などの大口倒産事業に対する売掛金などの回収が困難となり、経営不安定に陥っていると認められる企業者など

秋田県保証協会大館支所（電話大館四九二二八）または貸付けを受けようとする金融機関

## 倒産防止特別相談

商工会では「倒産防止特別相談室」を設け、倒産の恐れのある中小企業者の相談に応じています。相談の申し込みは、窓口での相談のほか、電話でも受け付けています。相談は無料です。

## 社会教育海外研修

## ヨーロッパ歴訪の旅



中央公民館主査

三上芳幸

十月五日から二週間、デンマーク、西ドイツ、スイス、フランスの四カ国視察に先立って、五日間の事前研修が県青年の家で行われました。

この中で「自分の尺度でものを見、考え、おどろきや感動を大切に我が郷土をじっくり見直せ」といった意味の言葉が印象的でした。

## 青少年の学校外活動

西ドイツでは、窃盗、麻薬、アルコール中毒などの非行が急増しており、健全育成のために余暇をどのように過ごさせるかが、大きな課題となっていました。

このためキャンプ場、文化施設、公園、オープン・ドア・ハウス（

いつでも開放、ユーゲントハウスなど各種の施設が実によく整備されています。

利用者は、年会費のほか必要に応じて、そのつど経費も徴収され、行政とボランティアなど民間団体が一体となって、その運営にあたっていました。

また、これらの施策は「青少年福祉法」にもとづく「社会福祉」の面でもとらえ、青少年行政の一本化のもとですすめられております。

## 国民大学で成人学習

スイスでは、手工芸、工業、商業などの職業教育と高等教育を受けなかった人々に、より高い学習の場として、だれでもが参加でき

る国民大学を開放しています。心理、教育、哲学、法学、経済学など、さまざまな領域の体系的な学習が展開されていました。

これには企業からの派遣も多く、生涯にわたって労働と学習が交互に繰りかえされる環流、回帰教育などと訳されている「リ・カレント教育」の考え方がもたっていました。

そして、これらの学習を保障するために、企業は残業をさせないとか、研修期間の人員を補充するなどの措置が義務づけられています。また、生涯教育の提唱者・ポールラングランの国、フランスでは「教育休暇法」が制度化されていました。

西ドイツの国民大学は、日本の公民館的な制度で開設され、その経費は受講者が半額負担となっています。

## 高齢者をとりまく環境

ヨーロッパの国々は、高齢者の社会保障が充実しています。しかし、出生率が著しく低下している西ドイツでは、この保障が将来も維持できるかどうか、大きな問

題となっていました。

一方、高齢者の心の支えとなる学習を考えると、教会の果たす役割が実に大きいものと思われる。教会はいたるところにあつて、人々の生涯にわたつての個別的、あるいは組織的な学習活動の場を提供していました。ここに、高齢者の生きがいを支える倫理観、人生観の確立や民主主義の論理があるのです。

## 「おらが」の郷土意識

訪問国各地でのさまざまな説明や講話の中で、「私どもの州では…、私どもの市では…」と、私どもの…を連発します。それぞれの州や市の主体性が大切にされ、そ

こに住む人々の自治意識や、連帯感に支えられた「おらが意識」のヨーロッパコミュニティの深層にふれたような気がしました。

## 重厚な歴史と伝統の国々

ヨーロッパの中世は、あらゆる建造物や人々の心の中に、今なお生きつづけていました。これは私たち研修団に、脅威と驚嘆の気持ちをいだかせました。

国際共存の重要性が強調されている今日、このことを知らずには真の国際理解につながらないし、ヨーロッパ政治・経済・文化の諸力の受容、対決の判断に迷いを生じかねないと思います。



オープン・ドア・ハウス



心をこめてしめなわづくり

七日市老人クラブ（佐藤徳治郎会長・会員百三十人）では、正月用のしめなわづくりに精を出しています。

同クラブでは、沼や湿地に繁茂している野生のスゲを夏のうちに刈り取って乾燥させ、十月から、各組単位で仲間の家に集まってスゲをない、台つくり作業を開始。十一月に入ってから、七日市基幹集落センターの二階会議室を作業場にして週二三日「しめなわ」の組み合わせ作業を行っています。

作業は、午前九時から午後四時まで続けられ、四十人のお年寄りたちは、弁当を持参して、にぎやかに会話を交わしながら、一つ一つ丹念に「しめなわ」を完成させていました。

年の瀬をひかえ

## お年寄り大活躍



青山荘におむつを寄贈

坊沢第三老人クラブは、ことしも寝たきり老人に贈る、おむつづくりをしました。

十一月二十五日午前九時にクラブ員四十人が坊沢公民館和室に集合。家庭で使い古したゆかた、タオル、てぬぐい、シーツなどの廃物をもちよって、おむつづくりをしました。

おむつは、寝たきり老人に使ってもらうため、ひと針ひと針、心を込めて縫いあげられました。

できあがった七十枚は、町社会福祉協議会をとおして、青山荘に届けられ、関係者から喜ばれていました。



### コイの養殖で三千キロの水揚げ

栄地区老人クラブ（小坂保雄会長 会員百五十人）では、栄・滝の沢の池でコイの養殖をしていましたが、このほど、水揚げ作業が行われました。

ことは天候不順のため水温が低く、成育が心配されていましたが、コイは順調に育ち、十一月十五日クラブ員総出で水揚げ作業が行われました。

当日は、寒い風が吹きつけるなか、池に腰までつかって網を引きよせ、体長四十～五十センチのコイが水揚げされました。

水揚げされたコイは、いったんいけすに入れ、二十日に地区内に、市価より安い値段で販売しました。

### 元旦マラソンに

参加してみませんか!!

日時 1月1日 集合 前9.30 出発 前10.30

集合 鷹巣町中央公民館

コース 町内1周 4KMと2KMコースで

申込み 12月25日まで 鷹巣体育館あて

### 第4回 ぱりじょっこ

元旦の午前零時から、役場前路上で綱引きが行われます。

多数参加してください。



# 広報紙のなかから 一年の歩みを振り返る

師走をむかえ、なんとなく忙しい毎日ですが、みなさんがこの一年をふりかえり、新しい年の計画をたてるため、広報紙のなかから、ここの主な出来事を抜粋して、一年の歩みを振り返ってみることにしました。

## 一月(睦月)

- 1日 新春交流会
- 4日 出初式(廉内敷(七座)、戸島与志夫(坊沢)、佐藤昭二郎、佐藤慎一郎(綴子)の四氏が有功賞)
- 交通指導隊町長査閲
- 出かせぎ者激励集会に二百人が参加
- 6日 新年書きぞめ大会
- 11日 実業団バレーボールリーグ鷹巣大会
- 18日 鷹巣室内合奏団演奏会
- 24日 町議会全員協議会(新都市計画街路、鷹巣小学校改築敷地)
- 25日 第十八回町民卓球大会
- ▽交換留学生のスザナさんが、和裁や生花を習得して帰国

## 二月(如月)

- 1日 町県民税の申告始まる
- 2日 三歳児むし歯のない元気な子三十一人を表彰
- 8日 第十九回町民スキー大会
- 13日 町議会全員協議会(鷹巣小学校改築は五十七年度以降の着工に)
- 青年会で町行政を語る会(競技場に照明設備を設置してほしいなどを要望)
- 20日・21日 大館北秋田生活工夫展
- 28日 入学おめでとう大会
- ▽福原ミチエさん(摩当)が、住民の健康維持・増進への三十四年の活動が認められ、医療功労賞を受賞
- ▽町子ども会育成連絡協議会が、日頃の活発な活動が認められ、優良団体として全国表彰

## 三月(弥生)

- 2日 町協力委員全体会議、永年勤続者五人に感謝状
- 4日 商工青年部創立十五周年記

## 念式典

- 7日 読書感想文コンクール(福原くんら十二人が特選)
- 10日・20日 三月定例町議会(新年度予算四十億八千九百万円、国保会計は九億六千万円に)
- ▽綴子小学校が、全国教育美術展で地区学校賞に輝く(特選九人、入選二十五人)

## 四月(卯月)

- 17日 綴子地区に待望の基幹集落センターが完成(鉄筋コンクリート一部二階建て、総事業費は一億六千八百八十四万円)
- 25日 第十九回河田杯マラソン大会(大川孝造さん四連勝)
- 29日 町内六河川でのクリーンアップ作戦に、千五百人の町民が参加



## 参加

- ▽春の叙勲で、大川健一郎さんが勲六等単光旭日章を受章
- ▽春の交通安全運動の一環として十二日町内を仮装行列

## 五月(皐月)

- 1日 第五十二回メーデー
- 9日・11日 秋田県建具展
- 15日 町議会臨時会(一般会計は四十億九千万円に、卸売市場の用地買収を決定)
- 16日 県北高等学校陸上競技大会
- 20日 町内小学校交歓陸上競技大会
- 25日 保健指導員大会

## 六月(水無月)

- 13日・14日 町内小学校野球大会で西小学校優勝
- 22日・7月1日 六月定例町議会(一般会計四十三億五千万円、農協合併に調査費を予算化、監査委員に太田見氏再任)
- 27日 町内小学校バレーボール大会で綴子小学校優勝
- ▽二十二日から二十三日にかけて、断続的に降った雨は百四〇を記録、栄地区で土砂くずれと橋の沈下被害を受ける
- ▽五十九年のインターハイ女子バレーボール大会が、当町で開催決定
- ▽綴子上町太鼓保存会が、一日から三日まで神戸のポートアイランド国際広場で行われた全国

## 太鼓祭りに出演

- ▽町長が八日から十八日まで、フィンランド、ノルウェー、デンマークの北方圏視察



## 七月(文月)

- 4日・5日 秋田県視覚障害者祭 鷹巣大会
- 12日 町内家庭婦人バレーボール大会(葛黒、堂ヶ岱、新田中、小田チームが優勝)
- 17日 農業委員一般選挙(沢口と坊沢・七座の二選挙区で投票)
- 26日 全日本大学相撲秋田大会で同志社大学が優勝
- 29日・30日 全町子ども会キャンプ
- ▽綴子簡易水道給水開始(工事費五億三千五百九十九万円で、当町では初めて毎戸給水)
- ▽鷹巣愛好会が、七月二十九日から八月一日まで東京都体育館で開催された全国家庭バレーボール大会で全国制覇

八月 (葉月)

2日 五城目町との交歓スポーツ大会  
7日・8日 町内スポーツ少年団野球大会で東少年団優勝  
9日 子ども会相撲大会で糠沢子ども会優勝  
15日 成人式 三百八十三人が大人の仲間入り  
20日 知事との行政懇談会 中岱橋の早期建設を要望



▽二十三日、秋田県を直撃した台風十五号は、当町で最大瞬間風速四十二メートルを記録、被害額は五億六千万円余り  
▽東北中学柔道大会で、鷹巣中学校が準優勝  
▽県青年体育文化祭で町連青総合で三位

九月 (長月)

5日 阿仁合線存続についての状

況説明会 商工関係者、地区若青年・婦人団体など各層から参加  
14日・24日 九月定例町議会 一般会計は四十六億七千万円余、財政調整基金に五千万円  
19日・20日 全県中学校新人陸上競技大会が当町で開催され、宇佐美くん(南中)が千五百メートルで優勝  
28日 町戦没者追悼式  
▽五日・六日の第一回の発明工夫展に力作百五十点が出品され、大人顔負けのアイデアがズラリ

十月 (神無月)

1日 新住居表示実施 旧町の一部を十一町、百四十三街区に  
2日 商工会婦人部創立十五周年記念祝賀会  
10日 町民体育祭 総合で沢口優勝  
町民駅伝大会 青年で綴子十連勝  
25日 綴子川で町民つりデー  
27日 北秋田地区商工ゼミナール



地域シンポジウム  
▽小塚孝治さん(堂ヶ岱)が自動車整備技能大会で優勝、東北からは初めてのこと

十一月 (霜月)

2日 鷹巣地域産業青年部会設立総会  
14日 医療を考えるついで  
15日 大館市北秋田郡公民館活動研究大会  
17日 南小学校収穫感謝祭  
▽一日・三日文化祭・産業祭 期間中は一萬五千人の出入を記録。文化祭は学級、同好グループの展示のほか邦雅祭やのど自慢。産業祭は、商工農林業の粋を結集した展示  
▽七日夜から降りはじめた雪は、九日朝に二十九センチの積雪を記録、明治三十二年開設の鷹巣通報所でも十一月上旬としては初の記録  
▽七日市郷土誌が発刊、三編十一章からなっており、浅利氏の盛衰、郡立農林学校(現農林高校)創立など収録

書きぞめ大会のご案内

新年の書きぞめ大会を次により開催いたしますので、お気軽に参加ください。

用具、紙、手本など一切各自で持参してください。

作品返却 作品はお返ししないことを原則とします

作品展示 七日から十八日まで、公民館に展示します

参加申込 一月四日まで鷹巣町中央公民館に申し込みください。

※午前十一時から練習

入選発表 当日会場で表彰

読書感想文コンクール

第十七回鷹巣町読書感想文コンクールを次により行いますので、多数の応募をお待ちします。

応募締切 五十七年一月二十七日

応募資格 小学校、中学校、高校、一般の四部門

入選発表 五十七年二月中旬

課題図書 特に定めませんが、教科書、雑誌は対象としません。

表彰 特選、入選、佳作、(各部門とも若干名)

字数 小学校の部は四百字

応募先 鷹巣町中央公民館

出稼ぎ者激励集会のご案内

町では、出かせぎ者の正月帰郷者を対象に、次により激励集会を開催しますので、ぜひ出席くださるようご案内いたします。

日時 一月四日午後一時から  
場所 鷹巣町中央公民館  
不明な点は、役場商工観光課へお問い合わせください。

公民館のうごき



すべき課題でした。  
また、今年八月に誕生したばかりの大堤若妻学級の三沢星子さんは、「忙しい、忙しいだけでは、皆んなに取り残される。忙しい時期だからこそ、何か勉強すべきだ」と思い、会を結成した」と、その決意を発表してくれました。

盛りあがった演説発表

十一月二十八日中央公民館で、五回目を迎えた学習者発表交流会が盛大に行われました。  
この交流会は、公民館で学ぶ各学級生、講座生が年一回お互いの学習の成果を発表し、情報を交換し合う場です。今年は百七十人が参加し、実践発表、演説発表を行いました。

好評だった私学利用講座

今年から始めた私学（寺田服装専門学校、鷹巣女子専門学校）を利用した定期講座生を代表して、成田ミネさん（洋裁とリフォーム）、塚本文子さん（和裁と着付）は、実践発表の中で「私学には、公民館でやるのとは違った良さがある。それは、実習用具がそろっていること、夜間コースがあること、講師陣が豊富なこと」などをあげていました。公民館の部屋数に制限があり、住民の要求に応えきれない事もある、今後は、私学とも連携をとりながら、前向きに検討

学級、講座で学んだり、個人的な特技を、思い思いに披露する演説発表に入り、会場は大変な盛り上がりを見せました。詩吟講座で初心者の方の指導の立場にある津谷喜代治さんが、先頭をきって「九月十三夜陣中の作」を詠じれば、日舞、民舞の講座生が見事な舞いを披露し、マンドリン講座生は、うっとりする音色を奏でてくれました。今年新しく仲間入りした舟見町婦人学級生が踊れば、見事な脚線美で七日市若妻学級生が「どんぱん節」。仲町婦人学級、栄民謡教室の皆さんが花を添えて、拍手喝采でした。

広まる交流の輪

現在、公民館の学級数は六十。定期講座が七、自主講座が十。人数にして、三千余人の町民が公民館の学級、講座を通じて学習しています。大変良くなっている学級もあれば、少々停滞気味の学級など、いろいろあります。悩み

もあります。でも、この交流会に参加した人達は、同じ仲間同志の交流を通して、刺激を受け、励まし合って、新しい意欲をかきたてながら、それぞれの学級、講座へ帰って行きます。

五回の積み重ねが、仲間意識を強め、学習の必要性を培ってきた。帰り際に、お互いの手を握り合いながら、「あんだ方もがんばれ、おら方もがんばるんて」、「何が、わがらねえ事があつたらデンワコレナ」等の交歓風景は、公民館学習者が明日に向けてまっかがいなく前進し、限りなく交流の輪を広めている、確かな手ごたえを感じます。

（学級紹介は、次号から再開します）



郷土史年表

44

| 西暦   | 年号   | 事項                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
|------|------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 一九二〇 | 大正九  | ○十月二十七日 北秋田郡内児童体育会が陣馬岱で開催され、当地児童活躍す                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| 一九二一 | 大正一〇 | ○十一月十七日 坊沢小学校新校舎が竣工す<br>○一月 摩当、太田に農業補習学校創設<br>○二月二十五日 鷹巣処女会創立<br>○四月一日 七座農業補習学校女子部開設<br>○四月一日 鷹巣小学校、十二学級となる<br>○四月四日 米穀法公布<br>○八月二十六日 摩当小学校同窓会を開く、約三百人参加<br>○十一月四日 原敬首相、東京駅で暗殺される<br>○十一月十五日 観音堂岱分教場に雨天体操場を増築<br>○十二月二十六日 鷹巣小学校二教室増築<br>○綴子小学校御真影奉安所落成<br>○第五十九銀行出張所設立<br>○鷹巣、角館線期成同盟会の発会式を秋田で開く<br>○二月 鷹巣小学校々地拡張す<br>○二月十一日 市内電話開通<br>○三月三十日 未成年者、飲酒禁止法公布<br>○三月 鷹巣小学校に卒業生が校旗を寄贈す。（図案は時の生徒、長谷川時郎氏）<br>○四月一日 坊沢小学校に高等科併置（次号へ続く） |





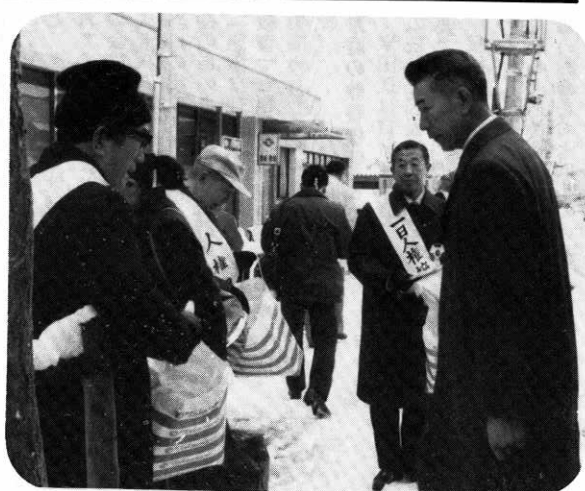
## 老人福祉に30万円寄付

町内の校長として長年教育に情熱をかたむけ、退職後は趣味の俳句をとおして町内の同人を指導して下さった千刈藤三さんが、このほど惜まれながら76歳の生涯を閉じました。千刈さんは住みなれた町のために役立ちたいと生前語り、香典は老人福祉に生かしてほしいという遺言にもとずいて、孫の川村葉子さん（大町）が町を訪ずれ30万円を寄付されました。

来春小学校にあがる新入学児童346人(男184人、女162人)の健康診断が、このほど実施されました。

子供の心身状況を把握するため、内科や歯、目の検診、身長や体重、視力、聴力、簡単な知能テストが行われました。付き添いのお母さんは心配顔で、我が子を見守っていましたが、子供たちは、1年生気どりで、胸をはって元気に受診していました。

## 新入学児童の健康診断



## 人権擁護で街頭ピーアール

私たちの身の回りでは、親子、夫婦、隣人などで様々な人間関係をめぐるトラブルが起きています。こうしたトラブルで悩んでいる方々が、気軽に相談できる窓口として人権擁護委員という制度があります。

同委員協議会では、委員を正しく活用してもらうため、12月4日には畠山助役を一日委員に委嘱して、街頭でピーアールのチラシまきをしていました。

明日の農家生活の発展をめざして結成された、鷹巣普及所管内生活改善実行グループ連絡協議会（成田ミ

ネ会長）は、15年目をむかえ、このほど中央公民館で記念大会が行われました。

体験発表や講演のあと、グループ員の手づくり料理と、素人はだしの歌や踊りで楽しいひとときを過ごしていました。

## 生改連実行グループ15周年祝う



# 388名と 29団体が加入

## 青少年育成町民会議



青少年育成鷹巣町民会議は十一月二十一日午後二時から、中央公民館で結成総会を開き発足した。

会費（個人三百円団体二千円以上）を出しあって地域ぐるみで子育ての条件をよくしようというこの会に賛同し登録されたのは三百八十八人と二十九団体であった。当日の出席者は約百名、実行委員長のあいさつ、来賓祝辞のあと、「急激な社会変化に対応する家庭教育」と題する米田五郎氏（元鷹巣高校長）の特別講演から始まった。

家庭の教育機能をつよめる

米田氏は自分で調査された多くの統計を図表にして示しながら大要つぎのように語られた。

戦後、日本の国が民主主義になったが、人々は自己本位になり、愛国心、道徳心を失い、子育てに悪い影響をおよぼしている。外国

に集団留学する日本の子供たちを、その国の人々は、金づかいが荒く、国旗や国歌への意識が弱く、あいさつしないなどといっている。

校内暴力、高校生の性非行などが多くなっていることから、今こそ、過保護による骨なし教育から脱皮し、家庭における教育機能を健全なものにしなければいけない。

そのための親のたいどとして、  
1、愛情の表現が適切であること  
2、子どもの気持ちがよくわかる  
3、子どもをいろいろ認めてやる  
4、子どもの誠意にすなおに応ずる

5、できるだけ子どもをほめる  
6、「いけません」というより、「こうしましょう」という  
7、叱ることと怒ることを区別する

などをあげ、子供に自信を持たせることを強調し、母親の顔は、オカメのごとく（五徳）、謙

虚な鼻、やさしい目、励ましなぐさめる口、ため息もらさぬ耳、すべてを包む豊かなほほ、であってほしいと話を結ばれた。

六つのスローガン

議事では規約、事業計画を審議し、五十六年度の重点事項をつぎのようにきめた。

①家庭でのおてつだいをすすめる  
②親子の対話で心のつながりを深めよう  
③おとなも子どももみんながあいさつし声かけ合おう  
④小さな親切の実行をすすめる、社会奉仕の心を育てよう  
⑤青少年に有害な条件を排除し、健全な社会環境をつくろう  
⑥関係機関、団体がお互いに状況を交流し連けいを深め、歩調を合わせた活動をしよう。

事業としては、実態調査、情宣活動、研修会、などを行うことにした。

会長に中島喜代氏

役員は次のとおり選出された。

▽顧問 出川禮一

▽参与 長崎佐太吉、寺田ヤシ、藤原愛、小塚嘉七、相馬文夫、河合裕志、長崎久

▽会長 中島喜代、▽副会長 千葉文吉、宇佐美義、村上三雄、佐藤敏子、▽常任委員 成田勇雄、花田和子、麻木安和、長谷川貞子

野呂久雄、和田テイチ、長崎克彦、宮腰光雄、中村幸雄、伊藤義直、成田洋子、武藤タヘ子、高橋文爾

藤本英夫、九島静江、戸島弘文、長谷川幸治、武田ミチエ、▽監事

松尾精一、中島洋子

▽事務局 中央公民館 村上憲一

成田正宏

# ふるさと 人物伝

(16)

なか  
中嶋  
照

(一八八九—一九七三)

明治二十二年三月、東京都牛込富久町一九、大和田敬時の二女として生まれる。同三十九年日本女学校を卒業、大正七年、在京中の沢口村川口の中嶋京四郎と結婚する。

大正五年には市川房枝、平塚雷鳥らの提唱する第一回全日本婦選大会に参加、以来婦人参政権獲得のため、持ち前のファイトで、天真爛漫な性格を発揮し、体当りの運動を展開する。

昭和五年、夫にしたがって帰郷、夫は沢口村の村長となる。郷里では、秋田市の和崎ハルらと婦人参政権獲得同盟で大活躍、村民の信望厚く沢口村婦人会長



となり、農村特有の封建性打破と婦人の体位向上に努力する。

そして、村民の和を求めることに努める一方、農繁期には部落の神社境内に託児所を開いて自らオルガンを用いて幼児を喜ばせたり、生活改善運動として農家の万年床廃止、寝室の窓を大きくして風とおしをよくすること、台所を衛生的に改善すること、台所を伝授した。また、沢口小学校の先生を講師に男子の夜学、女子の白百合学級を開設して青年教育にも力を入れる。

昭和二十一年、北秋田郡連合婦人会長、同二十六年、沢口村会議員に当選、町村合併までの五年間勤め、また鷹巣町公明選挙推進委員として買収供応追放、投票総参加運動を積極的に推し進める。

東京出身だけに言葉がきれいで、スケールの大きいものと考え方と行動力多くの婦人たちに引きつづき、昭和三十七年まで十七年間、郡婦連会長の要職にあり県北地方の近代化に大きく貢献し、勲五等瑞宝章、県文化功労章を受ける。昭和四十八年七月大館市立病院で「婦人よ、地位を高めて下さい」との言葉を遺して八十五歳の生涯を閉じた。遺骸は遺族と婦人会幹部の手により丁寧に葬られた。

(資料、村上憲氏調査原稿並びに秋田人名大事典)  
中央公民館長 長崎 久

# みんなの広場



つりばな  
花や果実が枝にぶら下  
ってつく。吊り花の意。  
庭にほしい山の木。

(理科教育センター 阿部達雄先生)

## 年の瀬に想う

宮前町 小林晋子(48)



「一握の  
棒稲架な  
らび列漢  
の村」

「血縁の  
ゆるびし

村や初時雨” ふるさとは遠きに  
ありて思うもの…と誰かが言いま  
したが、私の心の奥にもまだ、生  
まれ故郷(山本町下岩川)の残像  
が息づいております。

この町に住むようになってから  
満二十八年、名実共に我が心のふ



いとう  
ともかずくん(6歳)



## ぼくの絵 わたしの絵

—鷹巣保育園—



たかはし  
ひとみちゃん(5歳)



## 広報のしおり

### 年の納め

十二月のこよみを  
みますと、神事、仏

事、農事について、日ごとに「納  
めの…」といった文字が目立ちま  
す。これはくらしの上で、一年の

これからは積極的に社会参加をし  
て行かなければならないと思いま  
す。母としても、妻としても、そ  
の役目を果さなければなりません  
ので、本当に大変な事ですが、こ  
の三者をどうにかやってのける事  
によって、私達女性が胸を張って  
生きて行けると信じます。

何か頭痛のするような方向へ、  
ベンが向いてしまいました。次  
に私事を少しのべて見たいと思ひ  
ます。私の信条として、何か人の  
為に役立つ仕事も少しはやって行  
きたいと思っています。今一つは、  
自分の生きがいを持つ事、つまり  
何か好きな事をやる事です。どち  
らも思うようには行きませんが、  
来年こそはと張り切っています。

けじめをつけてきた先祖のいとな  
みだったことのしるしです。  
来年は…来年は…と思ひながら、  
なにか「あつ」という間の年の暮れ」  
になってしまいました。  
お説教じみていやですが、年の  
暮れになると思ひだす文句を中国  
の詩人陶淵明の詩から抜き書きし  
て、盛年不重来 一日難再農

及時当勉励 歲月不待人…文字  
をみれば大体見当はつきましよう  
が、いつてみれば…若い時代は  
二度と来ぬ 一日に二度の朝はな  
い この機会に勉強しよう 時の  
流れは人を待ってくれぬ…とい  
う意味ですが、もう千五百年も前  
にうたわれたこの詩から受ける感  
じは、今日でもあざやかです。

## たかのす文芸

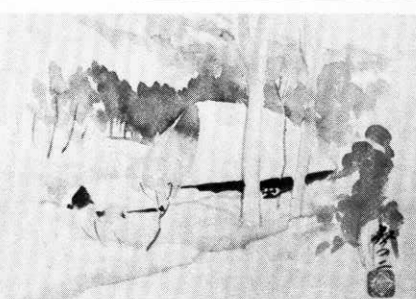
### かみなり

綴子小学校二年 あかし かずひと

おふろに入っていたら  
ガラスまどが  
ピカッと光った  
しんぞうが  
ドキッとした  
かあさんが  
「早くあがねば  
へそとられてしまうぞ」  
と、さけんだ  
弟は、ぬれたまま  
へそをつかんでしまった  
かみなりが  
ゴロゴロとなった  
ぼくも、へそをつかんで  
いそいで  
ふろから上がった



おしらせ



一線美術会運営委員 九島重二氏

十二月の健康相談

成人健康相談は、二十三日です。時間は、午前九時から午後三時まで。血圧測定のほか、必要に応じて尿検査も行います。

妊婦健康相談は、二十一日です。時間は、午前九時から午後三時まで。おいでの時は母子手帳を忘れずにお持ちください。

また、今月の母親学級は、沐浴指導と分娩および産後の注意について。時間は、午前十時から十一時まで。

※場所は、いずれも中央公民館保健相談室です。

◇ 離乳食実習指導は、十七日～五十六年五月生まれとなっています。

受付時間は、午前九時半から十時まで。乳児健康相談も併せて行いますので、お子さんもお連れください。

◇ 乳児健康相談は、十七日～五十六年八月生まれとなっています。受付時間は、午後一時から一時半まで。

※場所は、いずれも鷹巣保健所です。

「年末・年始」役場の仕事

年末・年始の役場関係の事務は、十二月二十九日から明年の一月三日まで休みます。

ただし、一部は次のとおり仕事を行います。一部は次のとおり仕事を行います。一部は次のとおり仕事を行います。

▽町民課戸籍係

二十九日の正午まで。印鑑証明等必要な方は、できるだけ早めに取りようにしてください。

▽収入役室

二十九日の正午まで。

▽税務課徴収係

二十九日の午後三時まで、税の収納を行います。

年末のゴミ収集

ゴミ収集も、十二月二十九日から一月三日まで休みます。

各家庭では計画的に整理し、休み期間中は集積所へ絶対にゴミを出さないようお願いします。

工業統計調査にご協力を

製造業を営むみなさん、今年も恒例の「工業統計調査」が行われます。

十二月三十一日現在での調査のため、年末年始のお忙しい中を調査員がお伺いしますが、ご協力くださるようお願いいたします。

みなさんにご記入いただいた調査票は、統計以外の目的に使われることは絶対にありませんので、安心してありのままをお書きください。調査は、従業員数などにより、甲、乙、丙の三種類に分かれています。

東北電力論文募集

東北電力では、「あすの東北を考える」のテーマで、創立三十周年記念論文募集をします。

東北の今後のあるべき姿を、歴史から導き、現実を照らし、未来を展望しながら、国際的な視野に立つて豊かに構想してください。応募資格は、満十八歳以上の個人、またはグループ。

論文は、四百字詰原稿用紙十五枚以上二十枚以内（住所、氏名、年齢、職業、電話番号）にまとめ、仙台市一番町三丁目七番一、東北電力株式会社 広報室 論文募集係あて送付ください。締め切りは、五十七年一月三十日まで。

善意

▽大館市東台一丁目三津雄さんから三〇〇、〇〇〇円

▽鷹巣ボランティアの方々から、チャリティーバザーの収益金一九、八〇〇円

それぞれ社会福祉のために、町社会福祉協議会へ寄付金がありました。

香典返し

このほど次のかたから、香典返しにと町社会福祉協議会へ寄付金がありました。

▽芳志に深く感謝いたします。▽埼玉県川口市大川共一さんから亡父利一さんの香典返し五〇、〇〇〇円

▽摩当山福原清春さんから亡祖母キエさんの香典返し二〇、〇〇〇円



11月16日～11月30日

誕生おめでとうございます

斎藤 秀平（二志 長男）綴子下町  
佐藤 新（正義 二男）東横町  
千葉 裕徳（美知雄 二男）伊勢町  
伊藤 要平（二男 二男）松葉町  
細田 仁（英美 三男）あけぼの  
松尾 由香（昭 長女）太田

おくやみ申しあげます

藤嶋 藤十郎（71歳）太田  
福原 キエ（79歳）摩当  
福原 チョ（57歳）摩当  
永井 悦子（47歳）羽立  
小坂 謙治郎（71歳）花園町  
中川 恵子（50歳）伊勢町

長崎 健志（努 長男）七日市  
佐藤 一彦（久孝 長男）坊山  
佐藤 史峰（嘉雄 長女）舟場  
永井 昌孝（孝 長男）坊上町  
成田 哲（喜裕 二男）舟場  
志村 宰（統 長男）宮前町  
二人の前途を祝福いたします

島山 克夫 南鷹巣  
近藤 利子 上野  
小松 勇一 前野  
内山 恵美子 向黒沢  
中林 三千夫 小森  
河田 範子 元町  
柴田 健治 堂ヶ岱  
鈴木 里子 阿仁町  
小坂 麻公子 旭町  
山形 誠 小ヶ田  
中嶋 美喜子 田子ヶ沢  
斎藤 吉弘 高野尻  
大坂 恭子 合川町  
佐藤 貴代美 下舟木  
相馬 博英 妹尾館  
後藤 鉄子 合川町  
茂内 美子 中岱  
佐藤 恵子 中岱  
高橋 聡久 綴子上町  
原田 せつ子 二ツ井町